

『老人福祉センター建替え・複合化基本方針（案）』に関する  
パブリックコメントの結果について

- ◆意見の募集期間 令和5年1月25日（水）から2月24日（金）まで
- ◆意見を提出された方 19名
- ◆意見の件数 43件

◆意見の概要、市の考え方をまとめたもの

（※意見の概要につきましては、取りまとめ及び要約をしています。）

【基本方針（案）関係】

No. 1

意見の概要	2. 既存施設の概要の図表が何のためにあるのか分かりづらいので、「老人福祉センター、中央コミュニティ・センターの建替え・複合化」に説明のある「老人福祉センター、中央コミュニティ・センター（以下「老人福祉センター」）の更新にあわせ、交通児童遊園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館を統合し、老人福祉センター解体後の跡地に移転、複合化します。」を追記すれば前後の関係が分かりやすくなるので追記してもらえないか。
市の考え方	老人福祉センター、中央コミュニティ・センター（以下「老人福祉センター」）の更新にあわせ、交通児童遊園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館を統合し、老人福祉センター解体後の跡地に移転、複合化します。」を追記修正します。

【施設全般】

No. 2

意見の概要	新施設は、古知野地区にはメリットが多いと思う。他の地区もメリットを受けられるような設備、運営にしてほしい。
市の考え方	施設を利用可能な者を限定せず、子育て世代の親への支援や高齢者の健康維持・増進の支援等により、誰もが利用しやすい施設となるよう、検討いたします。

意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の福祉センターの2階は、コミュニティセンターとして、地域や各種団体、サークルの会議や活動の場として、大変多くの人に使われてきた。今回の計画では、その機能が全く無視されて利用できる会議室等がない。誰もが利用しやすい、会議室を作ってほしい。</li> <li>・和室は小さすぎる。全体に小さい部屋が多く、大人数で使用したいときは、利用できない。</li> </ul>
市の考え方	<p>新施設には、多目的室、サークル室、会議室等、講義形式で100人程度が収容できる規模の部屋、民踊やダンス、ヨガ等趣味を楽しむ部屋、20人から35人程度の人数に対応した会議室等の整備を考えております。</p>

意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の老人福祉センターとしての機能、居場所づくりや高齢者の交流機能はなくなってしまう。高齢者の居場所をどう考えているのか。2階に和室の娯楽スペースを作るから良いというものではありません。</li> <li>・色々な施設の複合の建物で訳が分かりません。</li> <li>・老人福祉センターとしての今の機能を持ったまま、複合にせず建て替えることを望みます。</li> </ul>
市の考え方	<p>新施設の整備については、市の特性や地域課題等を踏まえつつ、特定の団体や高齢者の施設として限定せず、外国人居住者等を含め、様々な方が利用しやすく、世代や国籍を越えて交流することのできる拠点となることを想定しています。</p> <p>また、老朽化した公共施設の改修や更新、維持管理に対応するためには、長期的な視点をもって更新・統廃合等に取り組む必要があり、そのような考え方に基づき、現在の老人福祉センターは、他の施設との複合化を図ることとしたものです。</p> <p>高齢者の居場所づくりについては、現在の老人福祉センターの利用者の意見も参考にしながら、ハード面のみでなく、介護予防教室等のソフト面の充実にも、より一層力を入れて取り組んでいきます。</p>

意見の概要	社協の役割はますます大きくなっています。しかし、今回の細切れのような設計で現在の業務が全部入ることができるでしょうか。
市の考え方	老人福祉センターの建替・複合化に伴う新施設の諸室仕様等については、機能の重複する諸室、特定の団体が利用する諸室の集約・共有化により省スペース化を図ることなどの整備方針を踏まえつつ、老人福祉センターの指定管理者である社会福祉法人江南市社会福祉協議会の意見も取り入れながら、検討をすすめています。

意見の概要	各階の床面積 900 m <sup>2</sup> は狭すぎる。せめて、1,000 m <sup>2</sup> にし、ゆとりをもった施設に。
市の考え方	人口減少、少子高齢化などによる厳しい財政状況を踏まえ、公共施設の更新にあたっては、市民へのサービス水準を維持させながら、機能の重複する各諸室の集約・共用化により省スペース化を図るなど、床面積の縮減を図り、ライフサイクルコスト（建設から維持管理までの全てにかかる費用）の低減を図っていきたいと考えております。 諸室の面積等詳細につきまして、施設の設計を進める中で検討いたします。

意見の概要	小さい子どもが集まれる遊戯室や保育室、授乳室は1階の方がいいと思います。国際交流ルームを1階にして、高齢者や子どもが利用する部屋を2、3階にする理由が分かりません。
市の考え方	市では以前より、子どもが利用する場所は靴を脱いで、高齢者が利用する場所は靴を脱ぐ際に転倒する危険性があるため、土足で利用する設計を考えています。そのため、多くの世代が集まる施設を想定するにあたり、靴を脱ぐ場所と土足で利用する場所が混在しないよう、靴を脱いで子どもが利用する場所はワンフロアに集約し、3階に配置することを考えております。 また、ワンフロアに集約することにより、子ども専用の空間として、雨天時にも体を動かして遊べる遊戯室、中高校生の来館も想定した図書室・学習室等などの整備を検討いたします。

意見の概要	3階部分があまりにも手狭で、寄せ集めのような計画になっています。福祉センターとしての位置づけを明確にし、3階の子育て機能は撤回し、別の施設で新たに検討するべきではないでしょうか。
市の考え方	<p>老人福祉センター、国際交流協会及び児童館の機能が一つの建物に集約するにあたり、3階の児童館部分については、現在の3児童館の建物面積の平均約500㎡から、約900㎡になることを想定しています。</p> <p>児童館として、最近のニーズを把握したうえで、乳幼児とその保護者が安心して利用できる保育室や、雨天でも体を動かせる遊戯室、中高校生の来館も想定した図書室・学習室等など、できる限りオープンな環境で、安心安全に利用できる空間となるよう検討いたします。</p> <p>また、児童館としてこども専用の空間を確保しつつ、高齢者や外国人とふれあい、多様な感性を育む機会を得られる場となることが期待できると考えております。</p>

## 【設備関係】

意見の概要	1階に高齢者が利用する頻度が高い施設を持ってきてください。和室の机を使いやすいものにし、テレビの設置や腰かけ式のイスを備えて下さい。
市の考え方	<p>新施設については、児童館機能や子育て支援機能を併せ持つため、利用される方についても、高齢の方、障害のある方、子ども、外国人の方等様々な方が想定されます。</p> <p>施設環境全般において、環境負荷の低減やユニバーサルデザインを考慮するとともに、利用される方の、安全性・快適性にも十分に配慮したうえで、誰もが利用しやすい施設になるよう整備します。</p>

意見の概要	<p>喫茶・軽食の出来るお店を是非作って頂きたい。「くるみのお店」の様なコーヒーとパンでも充分だと思っている。障害のある人達の働く場にもなれば、良いのではないか。</p> <p>また、地産地消の推進から、江南市の野菜や果物の販売があれば市民の集う「憩いのスペース」になるのでは。</p>
市の考え方	<p>誰もが気軽に立ち寄り、趣味や談話、学習を楽しむことができ、趣味等を通して多世代の交流が進む空間の創出において、軽食や物販などの必要性を踏まえ、検討いたします。</p>

意見の概要	<p>トイレの面積は男性より女性の方を大きくしてほしい。個室に限るという女性トイレの構造上、面積を広げることは円滑なトイレ利用という点で必要不可欠。また、LGBTQ配慮のトイレ（オールジェンダーという表示のトイレ）も作ってほしい。</p>
市の考え方	<p>諸室の面積や表示等詳細につきまして、施設の設計を進める中で検討いたします。</p>

## 【交通関係】

意見の概要	<p>この施設に行くための交通手段が、車と自転車と想定されているようだが、コミュニティバスなど誰もが気軽に利用できる交通手段も併せて検討されることをのぞむ。</p>
市の考え方	<p>施設へのアクセスにつきましては、自家用車と自転車のほか、路線バスやいこまいCARが接続し、市内のどこからでもお越しいただくことができる利便性の高い施設となっています。今後も公共交通機関の利用促進など、誰もが施設を気軽に利用できるよう、周知・啓発に努めてまいります。</p>

## 【福祉関係】

No. 13

意見の概要	南海トラフ巨大地震などに備え、聴覚障害者が緊急災害時に必要な情報を得るために、アイ・ドラゴン4を設置してほしい。
市の考え方	アイ・ドラゴン4の導入には、機器購入などの初期費用や受信料などの継続費用が必要です。導入の必要性や他自治体の導入状況などを踏まえ、検討していきます。

No. 14

意見の概要	福祉センターとしての位置づけを明確にし、ボランティアルームなどもしっかり作ることを提案します。
市の考え方	ボランティアの育成や支援は重要であると認識しておりますので、ボランティアセンターについて、現在の老人福祉センターよりも面積を拡充して「老人福祉センターの建替え・複合化基本方針（案）」に掲げております。

意見の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・お風呂をなくしてしまった理由を知りたいです。</li><li>・1人暮らしの高齢者から家に風呂はあるが入浴するのは不安という声を聞きました。入浴中の事故防止のため、公共の場での入浴は人の目があり安心です。</li><li>・福祉センターのお風呂は安心・交流の場です。1人暮らしの高齢者が、毎日風呂を沸かすために必要な費用、または民間の入浴施設へ高い料金を払わなければ行けなくなるのは、生活の質が落ちると思います。</li></ul>
市の考え方	<p>老人福祉センターは、もともと入浴を目的として建設された施設ではなく、浴場については、以前より少数の利用者が固定化しており、自宅の風呂代わりとなっているという指摘が一部でありました。</p> <p>また、令和4年10月に、江南市公式LINE登録者や老人福祉センター利用者を対象に行ったアンケート結果では、浴場をなくさないでほしいという意見があった一方、浴場は不要という意見もありました。</p> <p>新しい施設は、高齢者のみならず多様な世代の方が集い、交流できる施設とする方針のため、限られた面積の中で、より多くの方にご利用いただける諸室の配置を優先しております。また、浴場の維持管理には、多額の費用が経常的に必要になる点なども踏まえまして、新しい施設には浴場を整備しない方向で検討を進めているところですので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>

意見の概要	老朽化を理由に布袋ふれあい会館の風呂まで無くしてしまうというのは、あまりに高齢者に冷たい江南市というしかない。布袋ふれあい会館は「老朽」というような施設ではない。
市の考え方	布袋ふれあい会館は、令和5年度で築20年となり、浴場は修繕をしながらの運営となっています。そのため、維持・管理には多額のコストがかかっており、今後もその金額は減少することはないものと考えています。 また、布袋ふれあい会館での高齢者の皆さんの集いの場・交流の場としましては、一階にあります娯楽室等においてサロンや運動教室などの開催も検討できますことから、廃止の方針と考えております。

意見の概要	浴室がなくなるようですが代替案はないのでしょうか。
市の考え方	現在では、老人福祉センターの建設時から、社会背景や外部環境も変化しており、お風呂のない家は少なく、民間の入浴施設も市内に立地していることから、公共施設における浴室の必要性は低下していると考えております。 ご意見をいただきました、代替案につきましては、現在の浴室の利用状況、財政状況等を踏まえ、検討いたします。



意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通児童遊園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館の3つの児童館を廃止して1つに統合するのはどうかと思います。今ある施設をより良いものにして提供してほしい。1つにまとめてしまっははその地域の子ども達しか利用できず、遠方の子ども達が利用できなくなります。児童館は、放課後、遊び場を求める児童の居場所になり、集合住宅に住む人も気兼ねなく子どもと声を上げて笑って過ごせる場になります。</li> <li>・ 子どもたちが自ら通える地域、小学校区毎にあるのが本来の姿であり、子ども達が徒歩または自転車で通える校区内にあるべきです。代替案はあるのでしょうか。</li> </ul>
市の考え方	<p>現在市内に児童館は3か所であり、放課後の児童館の利用者は限定的であるのが現状です。子どもたちの放課後の生活は様々で、市といたしましては、就労のため子どもをみることができない方のために学童保育を、遊びの場の提供として放課後子ども教室を全小学校区で実施しています。</p> <p>新しい施設には、最近の児童館のニーズの変化を把握したうえで、乳幼児が親と共に利用できる子育て支援センターとしての機能や、雨の日でも体を動かすことができる遊戯室、中高校生の来館も想定した図書室・学習室などを設け、多くの子どもが利用できる施設にしていきたいと考えております。</p> <p>さらに、市内の公共施設などを活用することや、今後再配置計画において新たな施設を計画する際には、児童館活動や放課後の居場所づくりについてもあわせて検討していきたいと考えています。</p>

意見の概要	<p>児童館の行事は、各館にて月2回程度の季節ごとの催しなどコロナ禍の前は盛況でした。合同行事として「キャンプファイヤー、ウォークラリー、将棋大会、卓球大会など」は子どもたちにとって素敵な活動でした。子どもたちのための楽しみな企画です。どうかなくさないでください。</p>
市の考え方	<p>児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とした、子ども同士の交流の場であり、また子育て支援の場として、多くの行事や遊びの場を提供してきました。</p> <p>今後も、多くの子どもたちが参加できる児童館活動を企画していきます。</p> <p>また、児童館の保育室を利用した子育て支援センターの運営や、子どもや保護者の相談対応など、子育て世代のニーズを把握しながら、子育て支援に関する活動を検討いたします。</p>

意見の概要	<p>江南市には公園が少ないので、子ども達が遊べる空間を作って欲しい。</p>
市の考え方	<p>3階の児童館部分は、乳幼児とその保護者が安心して利用できる保育室や、子ども専用の空間として、雨天でも体を動かせる遊戯室、中高校生の来館も想定した図書室・学習室等など、できる限りオープンな環境で、安心安全に利用できる空間となるよう検討いたします。</p>

意見の概要	<p>2階に国際交流ルームを持つてくると同時に、外国人相談ルームも設置してほしい。楽しく交流する以前の問題を抱えている方も多数いるように思われる為、気軽にしてもらい、必要に応じて労働基準監督署や弁護士、労働組合などを紹介する、「相談」に特化した部屋を作るべきだと思う。</p> <p>また、日本語教室専用の部屋もあっていいように思う。また、事前アンケートに外国人の声があまり入っていないような気がする為、新施設の計画をしていく中で外国人の方々の意見も多数集めて実施してほしい。</p>
市の考え方	<p>階数につきましては、他団体等との兼ね合いもありますので、今後協議していく中で検討してまいります。</p> <p>外国人相談ルーム及び日本語教室専用の部屋の設置につきましては、設置する方向で計画を進めているところです。</p> <p>また、市から在住外国人の生活相談や日本語教室の開催を委託している、「江南市国際交流協会」と協議しながら計画を進めておりますので、今後も団体を通して、在住外国人の意見を反映させられるよう検討してまいります。</p>

意見の概要	<p>国際交流ルームができるのは賛成です。国籍が多くなり難しい面があると思いますが、ぜひ成功させてください。</p>
市の考え方	<p>現在、江南市の在住外国人数は2,000人を超えており、近年でも増加傾向にあります。こうした状況のなか、今後様々な文化や習慣をもつ人々が共に暮らしていくためには、外国の文化や習慣について理解を深める必要があると思いますので、国際交流ルームが市民と外国人との交流を深められる場所となるよう検討してまいります。</p>

【統廃合関係】

No. 23

意見の概要	統廃合はよいと考える。床面積で 20%削減できないか建築資金の 20%削減に考えを集中して、市民の税金の減額を考える必要がある。この計画を再度見直し、無駄の省略、合理化に頭をひねってほしい。税金が高いのは建物を建て替えることである、布袋複合施設の利用をもっと考えるべき。
市の考え方	人口減少、少子高齢化などによる厳しい財政状況を踏まえ、公共施設の更新にあたっては、統廃合や複合化により、総延床面積と更新費用の縮減を図り、ライフサイクルコスト（建設から維持管理までの全てにかかる費用）の低減を図っていきたいと考えております。

No. 24

意見の概要	シルバー人材センターも統合できないのでしょうか。今のシルバー人材センターは駐車場も狭く建物も古く、高齢者が働くことを通じて生きがいを得られるように新しい建物に統合して、一新できないのでしょうか。
市の考え方	高齢者生きがい活動センター（シルバー人材センター）につきましては、老朽化が著しいことから、利用動向、維持・運営状況を踏まえた適正な規模や機能、立地等を検討したうえで、「統合」・「複合化」・「転用」・「減築」による施設の更新を図っていきたいと考えています。

【跡地活用】

No. 25

意見の概要	交通児童遊園の緑を残してほしい。その際、平屋のホールとトイレ、シャワーを設置してほしい。
市の考え方	交通児童遊園（広場部分）は、交通公園としての機能を維持していくことは困難ですが、都市公園として都市計画決定されているため、防災機能を備えた公園等としての整備を考えており、今後必要な設備等を検討いたします。